



社会・産業インフラモニタリングシステム



現状の点検システム

- ・故障物理学を基本にした損傷解析に基づき、危険予測箇所を監視、点検
- ・一部有線センサによる常時モニタリング(コスト、設置性に課題あり)

+ 補完技術

提案する常時・継続モニタリングシステム

- ・継続的なデータ取得による定量的評価・分析
- ・部材劣化に加えて構造物全体の不具合の兆候をも検知
- ・無線自立電源センサにより設置自由度が高く、多点・高密度センシング可能

高密度面パターンセンシングによる見守り
(特定・異常個所の網羅的異常検知)

衛星リモートセンシングによる見守り
(大規模火災・有毒ガス検知)

多数無線センサネットによる見守り
(常時計測・異常検知)



ビル・都市設備



トンネル

社会インフラ劣化監視

情報・解析サービス

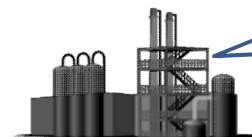
災害時損傷診断

プラント設備異常監視

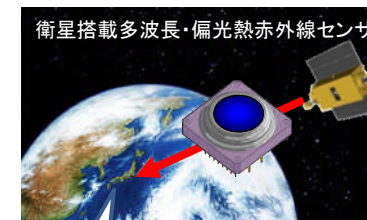
大規模災害
状況把握



橋梁



プラント・パイプライン



衛星搭載多波長・偏光熱赤外線センサ



火災、有害物質

NMEMS 技術研究機構